

報道関係各位

復興に関する大船渡市民の意識調査（第3次横断調査）の結果概要について

岩手県立大学総合政策学部震災復興研究会「社会調査チーム」では、2017年11月に、18歳から79歳までの大船渡市民1,500人を対象として「復興に関する大船渡市民の意識調査（第3次横断調査）」を実施しました。この調査は、2011年12月の第1次調査（対象：20歳から79歳までの大船渡市民2,000人）、2013年12月の第2次調査（対象：20歳から79歳までの大船渡市民1,500人）に続く3回目の調査であり、震災後の市民生活の意識変化や復興に向けた意識変化の調査を通じて、市の復興過程を把握するものです。

このたび調査結果の概要を作成いたしましたので、お知らせいたします。この調査結果概要は、主要な調査項目について、速報値を用いて結果を要約したものです。今後、これまでの調査で得られたデータを用いながらより詳しい分析を進めるとともに、大船渡市の皆様と市の復興に役立てて頂けるよう、調査活動を継続して参ります。

なお、本調査チームのこれまでの調査に関する研究成果の情報を、下記「三陸沿岸災害復興の総合政策学」のサイトに掲載しておりますので、合わせてご参照いただければ幸いです。本調査に関する取材につきましては、下記【問合せ先】までお願いいたします。

三陸沿岸災害復興の総合政策学 <http://www.iwate-pu.jp/~sanriku/>

※社会調査チームは、政策科学や社会学、社会調査を専門とする総合政策学部の教員（東日本大震災時に在職し、その後、他大学に移籍した者を含む）による研究グループです。

※今回の調査は、科学研究費基盤研究（C）「震災被災地の復興過程における住民意識調査：復興政策の意図せざる結果の解明（課題番号16K04076）」の研究の一部として行われたものです。

【問合せ先】岩手県立大学総合政策学部震災復興研究会「社会調査チーム」事務局
総合政策学部准教授 ^{ほりごめ}堀籠義裕 horigome@iwate-pu.ac.jp
総合政策学部講師 平井勇介 h_yusuke@iwate-pu.ac.jp
TEL 019-694-2700（総合政策学部事務室）